

# 西教寺進徳日曜学校だより

西教寺蔵本通支坊 2004.6.20 呉市中央7-7-13 Tel.21-2798 E-mail:chinei63@enjoy.ne.jp

## 今日したこと

- おはなし「けしの実」  
(仏教とくほん『ふじ』)
- 「仏教子ども新聞」
  - ①「プトラとプトリのわくわくおたより箱」  
こんどこそ!
  - ②「まちがいさがし」

## ◎夏休みのつどい

- ①今年は、近隣のお寺54ヶ寺からなる安芸南組で、久しぶりに1泊練成会が企画されました。夏の集いが長くなって1泊する(浜辺で塩を作ったり、キモだめしやキャンプファイヤーなどを予定)ものだをご理解下さい。参加資格は4年生以上。

日時) 7月29日(金)~30日(土)  
場所) 蒲刈 来生寺  
※詳細は未定

- ②ところで、毎年夏に龍谷大学伝道部が来てくれて人形劇や楽しいゲームなどをしてくれます。今年も楽しみにしていましたら、なんと今年は来てくれないそうなのです。理由は部員不足。上記行事は4年以上しか参加できませんし、どうしましょう?何もないのもさみしいし…。ちょこっとでも何かしましょうか? ご意見をお聞かせ下さい。

## ◎子どもは、言うたようには育たずに親のやるとおり育つけえねえ。



風船バレー。どうして仲良くできないのだろう…。

どきっとするような言葉ですねえ。私たち親は、子どもには「こうしなさい、ああしなさい」「あれはだめ、これはだめ」と言いますが、結局、口やかましく言ってもそれはあまり役に立たずに、子どもは親のやるとおり(親の生きたとおり)に育つ、という意味の言葉です。

仏教では「脚下照顧」「照顧脚下」といい、足元をしっかりと顧みることを教えます。「親の背中を見て子は育つ」とも言いますね。問題なのは「子供」ではなくて実は「私たち」かもしれませぬ。

親自身が謙虚になって、何でもいいから何か一つ、やりやすいことから私たちの生活を変えてみるのが大切に思います。ちょっとした変化ではあっても、きっとすばらしい世界が開かれてくるはずですよ。

この次は、**7月3日(土) 9時~**です。

その次は7月18日(日) 9時~です。